

- ① おおぜいの人がかいジョウ【 】にあつまる
- ② けっせきのバ【 】あいはれんらくしてください
- ③ きちんと、トウ【 】てんをつける
- ④ きようかしよの文しょうをヨ【 】む
- ⑤ がようシ【 】にかいたえをかざる
- ⑥ カミ【 】ひとえのさでおしくもやぶれた
- ⑦ じぶんのかんがえをイ【 】う
- ⑧ このコト【 】ばのいみがわからない
- ⑨ あるいてツウガク【 】する
- ⑩ いえのまえをまつりのみこしがトオ【 】る
- ⑪ かぞくそろってショク【 】じをする
- ⑫ おなかいっぱい、ごちそうをタ【 】べる
- ⑬ ゴジツ【 】あらためてうかがいます
- ⑭ ともだちがウシ【 】ろからこえをかけてきた
- ⑮ ゼン【 】ご左右をかくにんする
- ⑯ ころんでマエ【 】ばがかけた
- ⑰ いつもジ【 】しんをもってこうどうする
- ⑱ ミズカ【 】らのねがいをじつげんさせたい
- ⑲ 校ないのしよくぶつをブン【 】るいする
- ⑳ さんかしゃを三つのグループにワ【 】ける

- ㊦ こわごととタニ【 】ぞこをのぞきこむ
- ㊧ タニガワ【 】の水の音がきこえる
- ㊨ マイニチ【 】げんかんのそうじをする
- ㊩ マイ【 】あさはをみがく
- ㊪ くものかげにタイ【 】ようがかくれる
- ㊫ フト【 】いまつの木が立っている
- ㊬ あかるいシキ【 】ちょうのカーテン
- ㊭ イロ【 】がみでつるをおる
- ㊮ でん車がいちジ【 】かんおくれではっしゃした
- ㊯ トキ【 】おり、つよいかぜがふく
- ㊰ だいどころのしょうメイ【 】
- ㊱ アカ【 】るいへやで本をよむ
- ㊲ シュウ【 】ぶんの日にはかまいりにいった
- ㊳ アキ【 】になってすごしやすくなった
- ㊴ えきのひがしのハウ【 】がくにびょういんがある
- ㊵ 正ハウ【 】けいのタイルをつかう
- ㊶ おそろしきでガン【 】めんがこわばる
- ㊷ かぜをひいてカオ【 】いろがわるい
- ㊸ ともだちとのかいワ【 】がはずむ
- ㊹ ちょうれいで校ちょう先生のおハナ【 】しを聞く

- ① おおぜいの人がかいジヨウ【場】にあつまる
- ② けっせきのバ【場】あいはれんらくしてください
- ③ きちんと、トウ【読】てんをつける
- ④ きようかしよの文しょうをヨ【読】む
- ⑤ がようシ【紙】にかいたえをかざる
- ⑥ カミ【紙】ひとえのさでおしくもやぶれた
- ⑦ じぶんのかんがえをイ【言】う
- ⑧ このコト【言】ばのいみがわからない
- ⑨ あるいてツウガク【通学】する
- ⑩ いえのまえをまつりのみこしがトオ【通】る
- ⑪ かぞくそろってシヨク【食】じをする
- ⑫ おなかいっぱい、ごちそうをタ【食】べる
- ⑬ ゴジツ【後日】あらためてうかがいます
- ⑭ ともだちがウシ【後】ろからこえをかけてきた
- ⑮ ゼン【前】ご左右をかくにんする
- ⑯ ころんでマエ【前】ばがかけた
- ⑰ いつもジ【自】しんをもってこうどうする
- ⑱ ミズカ【自】らのねがいをじつげんさせたい
- ⑲ 校ないのしょくぶつをブン【分】るいする
- ⑳ さんかしゃを三つのグループにワ【分】ける

- ㊦ こわごととタニ【谷】ぞこをのぞきこむ
- ㊧ タニガワ【谷川】の水の音がきこえる
- ㊨ マイニチ【毎日】げんかんのそうじをする
- ㊩ マイ【毎】あさはをみがく
- ㊪ くものかげにタイ【太】ようがかくれる
- ㊫ フト【太】いまつの木が立っている
- ㊬ あかるいシキ【色】ちようのカーテン
- ㊭ イロ【色】がみでつるをおる
- ㊮ でん車がいちジ【時】かんおくれではっしやした
- ㊯ トキ【時】おり、つよいかぜがふく
- ㊰ だいどころのしょうメイ【明】
- ㊱ アカ【明】るいへやで本をよむ
- ㊲ シュウ【秋】ぶんの日にはかまいりにいった
- ㊳ アキ【秋】になってすごしやすくなった
- ㊴ えきのひがしのハウ【方】がくにびよういんがある
- ㊵ 正ハウ【方】けいのタイルをつかう
- ㊶ おそろしさでガン【顔】めんがこわばる
- ㊷ かぜをひいてカオ【顔】いろがわるい
- ㊸ ともだちとのかいワ【話】がはずむ
- ㊹ ちようれいで校ちよう先生のおハナ【話】しを聞く